

原子力防災訓練（冬季・暴風雪）の概要

1. 訓練の目的

北海道後志地方を中心に厳しい暴風雪が発生する中、原子力災害の事態が進展する状況を想定し、当該状況下における住民の防護措置に係る対応手順等を確認する訓練を行う。（平成28年度原子力総合防災訓練の一環）

2. 実施時期

平成29年2月4日（土）9：00～15：40

※天候不良等により上記日時に実施できない場合、2月18日（土）に延期予定

3. 訓練対象となる事業所

北海道電力 泊発電所

4. 訓練の主な実施場所

北海道庁、北海道原子力防災センター（オフサイトセンター）、泊村、共和町

5. 参加・協力機関

内閣府、原子力規制委員会、北海道、泊村、共和町、UPZ圏内11町村、国土交通省北海道開発局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面隊、原子力規制庁泊原子力規制事務所、北海道地方放射線モニタリング対策官事務所、北海道警察、岩内・寿都地方消防組合、北後志消防組合、羊蹄山ろく消防組合、（一社）北海道バス協会、小樽建設協会、（株）NTTドコモ北海道支社、北海道電力（株）

6. 訓練想定

発達する低気圧の影響により、北海道後志地方を中心に厳しい暴風雪が発生する中、北海道電力株式会社泊発電所3号機において定格熱出力一定運転中、設備故障等により原子力災害の事態が進展し、全面緊急事態まで至る。

7. 主要訓練項目

①住民避難等の防護措置の実施方針等に係る意思決定訓練

- ・暴風雪の状況を踏まえた各活動拠点の運営
- ・各活動拠点の連携による住民避難等の防護措置の実施方針の策定

②除雪や住民避難等の実動訓練

- ・安定ヨウ素剤の緊急戸別配布
- ・PAZ内施設敷地緊急事態要避難者の避難
- ・PAZ内住民の避難（避難道路の除雪含む）
- ・ヘリコプターによる物資緊急輸送

※実動訓練については、意思決定訓練のシナリオとは切り離して実施

担 当 (連絡先)	総務部危機対策局 原子力安全対策課企画防災グループ（内線 22-854） 担当者：主幹 清水 章弘 (直通:011-204-5011)
--------------	---------------------------------------------------------------------------